

大雨から身を守る

夏休みに入ったくにもももたんは、テレビを見ていて、雨について気になったことがあったようです。その疑問を解決するため、福島市にある福島地方気象台へ行き、防災気象官の高橋明さんにいろいろな話を聞いてみました。



くにみももたん…こんにちは。今日は、雨についてわからないことがあったのでいろいろ教えてください。

A…ももたん、こんにちは。今日は雨について、一緒に疑問を解決していきましょう。

…大雨が降るって天気予報で言ってたけど、「降水量」ってなんですか？

A…「降水量」は、雨や雪が降った量のことです。その量を「ミリメートル」という単位で表わすんだよ。

から、大きな被害がでたのかあ。おしいちゃんから聞いたことあるけど、30年前にいっぱい雨が降って、被害がでた「8・5水害」の時はどのくらい降ったんですか？

A…「8・5水害」は、昭和61年に台風10号から変わった温帯低気圧というものが降らせた雨だね。国見町以外にもいろいろところで被害があったんだよ。さっき話した梁川観測所の雨量計では、8月4日から5日の2日間で192ミリの雨が降りました。8月5日は1日で124ミリも降って、記録が残ってる昭和51年以降、6番目に多い雨の量だったんだよ。

…テレビでしか見たことがなかったけど、国見町ですごい雨が降ったことがあったんだあ…。8月17日から観月台文化センターで「8・5水害」のパネル展があるみたいだから見に行ってみよう！（詳細は24ページに掲載）

1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降るおそれがあります。



…「ミリメートル」という長さとか高さの単位って習ったけど…？

A…そうだね。「ミリメートル」だとイメージが難しいかもしれないね。実をいうと、雨を測る装置があつて、

突発的な大雨が全国的に発生し、大きな被害をもたらしています。国見町でも昨年9月の雨や30年前の8・5水害など大雨が発生し、浸水などの被害が発生しています。大雨から身を守るためにはどう対応すればいいのか。今回は、くにみももたんが福島地方気象台へ行き、雨について話をうかがってきました。

円筒型の雨量計に雨をためて、1時間あたりどのくらいたまったのかをミリメートルで測ってるんだよ。

…ということは、「1時間に30ミリの雨」というのは、3センチメートルの深さで雨水がたまつたということですか？

A…その通りだね。

…「1時間に3センチ」しか溜らないのならそんなに多く感じないけど…

A…数字に表すと分かりにくいかもしれないけど、「1時間に30ミリ」というと…

たとえば、車に乗っていて、ワイパーのスピードが一番早くしても、前が見にくいぐらいの降り方なんだよ。あとで車を運転するお父さんやお母さんに聞いてみてね。「10ミリ」だと「ザーザーと降る」感じ、「50ミリ」だと「道路に水がたまって川のように見える」といわれているので、外の様子を見るとだいたい何ミリぐらいの雨なのかイメージがつかもれないね。

…そうすると、この前テレビで言っていた「80ミリの雨って…」

A…猛烈な雨が降っている



…昨年9月に降った大雨のとき、隣の茨城県の鬼怒川で堤防が決壊してるのをテレビで見たけど、国見町ではどのくらい降ったんですか？

A…国見町には雨量観測所はないんだけど、一番近い梁川観測所の総雨量は、9月6日から11日で262.5ミリ、9月の平均降水量の1・6倍の雨がたった5日間で降りました。

…1カ月に降る量の1・6倍の量が5日間で降った



高橋さんから雨量計の説明を聞くももたん

A…そうだね。昔の被害状況について知ることも大切だね。最近は雨の降り方が「局地的」「集中化」「激甚化」しており、国見町でも、いつ大雨が降ってもおかしくないんだよ。気を付ける必要があるね。

…じゃあ、大雨から身を守るにはどうすればいいのかなあ…？

A…テレビやラジオの情報、国見町では防災行政無線があるの、放送があつたときは注意して聞く必要があるね。そのほかにも普段から「避難場所の確認」「安全な避難経路の確認」「食へ物

を準備」したりすることも大事なことだよ。非常用持出袋を準備しておくのも大切だね。

…非常用持ち出し袋は、町の防災訓練でもらつたよ。

A…国見町では毎年防災訓練を行っているし、防災マップも配つたと聞いているので、防災訓練に参加して避難場所を確認するのもいいかもしれないね。

…わかりました。いろいろな疑問が解決しました。日頃からの備えが大切だね。地域の人やお友達に防災訓練への参加を呼びかけてみるよ！今日はありがとうございました。

A…頑張ってくださいね。自分の身は自分で守らないといけないから、いろいろなことを勉強して、体験してみてください。

※参考イラスト出典：気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp/>

今年は9月11日(日)に「総合防災訓練」を行います

災害発生時の落ち着いた行動が、被害を小さくすることにつながります。自分自身、大切な家族の命を災害から救うのは、一人一人の日頃からの備えです。総合防災訓練では、避難経路や避難場所の確認、炊き出しや消火訓練、伊達地方消防組合や福島県消防防災航空センターによる救助訓練などを行います。

◆問い合わせ 住民生活課住民防災係 ☎585-2116